

平成30年度 事業報告

はじめに

社会福祉法人ききょう会は平成29年10月に障害者支援施設陽気園を創設し、施設入所支援並びに生活介護事業、併せて短期入所事業を展開してまいりました。

平成30年度は事業も2年目を迎え、日中の作業を含め、昼夜の生活の充実、また個別支援計画に基づき、利用者個々のニーズに沿った支援を行うなど内容の更なる充実を図る年となりました。

I. 法人理事会・評議員会の開催状況

1. 理事会の開催

開催日		議 案
H30.6.9	第1回	1. 平成29年度事業報告の承認について 2. 平成29年度収支報告の承認について 3. 平成29年度監査結果報告について 4. 社会福祉充実計画について 5. 平成30年度補正後の予算の承認について 6. 預り金管理規程の承認について 7. 評議員会の承認について 報告 定款変更の認可完了の報告について 口腔保健計画について
H30.9.14	第2回 (決議の省略)	1. 評議員選任・解任委員会の開催について 2. 評議員の退任の承認及び後任評議員の推薦
H31.3.9	第3回	1. 平成30年度の補正予算の承認について 2. 平成31年度事業計画の承認について 3. 平成31年度収支予算の承認について 4. ハイエースの購入について 5. 就労支援事業について 6. 理事・監事任期満了における再任の意思確認について 7. 評議員会の招集について 8. 慶弔規程について 9. 障害児通所支援事業について 報告 指導監査について 後援会活動状況について 寄付金について Y邸購入検討について

2. 評議員会の開催

開催日		議 案
H30. 6. 23	第 1 回	1. 平成 29 年度事業報告の承認について 2. 平成 29 年度収支報告の承認について 3. 平成 29 年度監査結果報告について 4. 社会福祉充実計画について 5. 平成 30 年度補正後の予算の承認について 6. 預り金管理規程の承認について 報告 定款変更の認可完了の報告について 口腔保健計画について
H31. 3. 23	第 2 回	1. 平成 30 年度の補正予算の承認について 2. 平成 31 年度事業計画の承認について 3. 平成 31 年度収支予算の承認について 4. 理事・監事任期満了(2019 年 6 月末)における選任について 報告 書類監査について 後援会活動状況について 寄付金について ハイエースの購入について 神殿ビルでの事業について Y 邸購入検討について

II. 障害者支援施設陽気園 施設入所支援・生活介護事業の状況

1. 利用者の状況

定員 施設入所支援事業（35名）、生活介護事業（暫定30名）

平成30年度の入所利用者は男性11名、女性3名からスタートし、平成31年3月31日現在の入所利用者数は男性18名、女性5名の計23名となった。

年度中の利用者の異動は、入所者12名（男性10名、女性2名）で、退所者は男性3名であった。退所理由はいずれも家庭引取りで、通所事業所を活用し、地域生活を送ることとなった。

生活介護事業については、入所中の利用者に加え、通所並びに短期入所者の利用が実人数18名、延べ日数299日であった。

利用者の年齢は、3月末現在で最若年者は18歳、最高齢者は56歳で平均年齢は男性28.9歳、女性24.0歳、全体では27.8歳と若い利用者が多い状況である。

実施機関別にみると、地元奈良市の利用者が10名（4割強）で奈良市を除く奈良県下から4名、その他は県外近畿府県から9名と広範囲からの入所利用となっている。

利用者は知的障害のある方がほとんどであるが、身体障害また精神障害を主な障害とする方は2名、重複する障害のある方は3名となっており、障害程度区分の平均は5.2である。

利用者の帰省・外泊状況は、ほぼ毎週の6名を含め、毎月1回以上実施されている利用者が10名、反面全く機会がなかった利用者も7名（3割弱）で双極的な状況となっている。利用者ご本人の状況や家庭の状況からこのようになっているものと思われるが、帰省にかえて外出する機会を多くとるなど、それぞれに工夫されている状況も感じられる。

表1 実施機関別・区分別利用者数(H31. 3. 31 現在)

	援護の実施機関	男	女	計	区分4	区分5	区分6
1	奈良市	6	4	10	2	5	3
2	香芝市	1	0	1		1	
3	桜井市	1	0	1		1	
4	大和郡山市	1	0	1		1	
5	大和高田市	0	1	1	1		
6	大阪市	1	0	1			1
7	茨木市	2	0	2	1	1	
8	豊中市	1	0	1		1	
9	枚方市	1	0	1			1
10	京都市	1	0	1			1
11	京田辺市	1	0	1			1
12	東近江市	1	0	1			1
13	橋本市	1	0	1			1
	合 計	18	5	23	4	10	9

表2 年齢層別・区分別利用者数

	男 性			女 性			計
	区分	区分	区分	区分	区分	区分	
	4	5	6	4	5	6	
18～19 歳		1	5				6
20～24 歳	1	1	1	1	2		6
25～29 歳	1		2	1			4
30～34 歳		1	1	1			3
35～39 歳		1					1
40～44 歳							
45～49 歳							
50 歳 ～		3					3
合 計	2	7	9	3	2		23

表3 帰省・外泊状況

(単位：人)

無 し	7
年1回	2
年2回	3
年3～4回	2
二月に1回	2
月1回	1
月2回	2
月3回	1
毎 週	6
合 計	26

2. 日 課

下記の日課を基本として実施した。

7:00	7:30	8:30	10:00	11:30	12:00
起 洗 床 面	朝 食 歯 みが き		日 中 活 動 業 動		昼 食 歯 みが き 休 憩

13:30	14:45	15:00	16:00	18:00	19:00	21:00
作 業 活 動 (散 歩)	作 業 活 動 終 了	入 浴	整 理 ・ 片 付 け	夕 食 歯 みが き	余 暇 時 間	就 寝

毎週土・日曜日は作業は行わず。

入浴は毎日実施。

3. 作業活動

平成30年度当初は、取り組み可能な利用者を対象にボルト・ナットを締めるあるいは外す、ビーズにひもを通す、箸を袋に入れる等の作業、また絵画や様々な飾りつけ等の工作を訓練的に行っていたが、より多くの利用者がより仕事に近い感覚で作業に取り組めるよう班体制を模索した。

12月からは内職を行う軽作業班、回収したアルミ缶潰しを行うリサイクル班、畑で野菜、花等を育てる農耕班の3班を創り、利用者に関しては特性等を考慮して各作業班に配属し、年度途中でも配置換えを適時行なった。

なお、軽作業班では内職の工賃、リサイクル班ではアルミの販売による収入が発生し、軽作業班は 17,384円、リサイクル班は 6,220円、計 23,604円の収益を得た。(次年度、何らかのかたちで利用者へ還元の手配)

① 軽作業班（内職作業）

受注した作業（小物、お菓子等の袋詰め、包装等数種類の作業）を中心に行なった。作業工程の細分化を行い、利用者に合わせて取り組める工夫をした。

利用者 男性 3名、女性 4名 計 7名

② リサイクル班

利用者家族等の協力を得て、アルミ缶を回収。

水洗い→シール剥がし→トレイに並べる→潰す という流れで作業を行った。

潰したアルミ缶については、継続的に業者に販売した。

利用者 男性 8名、女性 0名 計 8名

③ 農耕班

作業として園敷地の一部を開墾、野菜、花等を栽培、収穫、雑草取りなどを行う。

野菜 玉ねぎ、ニンニク、ジャガイモ等の苗植え。

今後、家族の方々等への収穫物の販売を目指す。

利用者 男性 9名、女性 1名 計 10名

4. 行事・余暇活動

平成30年度は前年度に行った行事に加え、新たな行事に取り組み、更に日常の余暇活動の充実を図るべく、夏からはプール外出、秋からは誕生日該当利用者を対象にお祝い外出を取り入れた。

月	日	内 容	場 所
4	16	入所式	園内
5		健康診断	
	4	なかま・みらい合同運動会	
	5	合同バーベキュー	
8	9	なかま・みらい・きせき合同夏祭り	園内
	22	笠置キャンプ	笠置
9	5	口腔保健計画（歯科衛生指導）	園内
10	14	陽気園フェス 2018	園内
	18	誕生会	カラオケ
11	3	エコライフフェアインなら 大展示会	加藤商会
	10	なかま・みらい合同運動会	奈良佐保短期大学グラウンド
	14, 17	健康診断・インフルエンザ予防接種	
	20	誕生会	ジョイフル 九条公園
12	17	クリスマス会（バス旅行）	三重県 なばなの里
	18	誕生会	園内
2	4	節分	園内
	14	誕生会	ジョイフル 若草山
3	6	サーカス観覧	大阪駅前うめきたグランフロント西

プール遊泳は、利用者の外出機会の確保と体力の維持・増進を目的に8月より実施。参加可能な利用者を対象にスイムピア奈良温水プール、ならやま屋内温水プールの2カ所を利用、毎回2～5名が参加し、計35回、延べ126名が参加した。

5. 健康管理

定期健康診断を年2回（5月、11月）、季節性インフルエンザの予防接種を11月に実施した。また、口腔保健計画にのっとり、9月に歯科医師、歯科衛生士の訪問による検診並びに歯磨き指導を受けた。

日常的には日々の検温、週1回の体重、血圧測定を看護師、支援員で行い、必要に応じて地域の医療機関と連携を取りながら、健康管理に努めた。

健康管理には十分の配慮を行っていたが、1月にインフルエンザ感染が発生。罹患者には食事も居室で採ってもらうなど隔離的な対応で感染の予防に努めたが、結局7名が罹患、収束に約2週間を要した。（罹患状況については奈良市保健所に報告）

年度を通して、大きな事故等はなかったが、入院は精神科1件（不穏状態となり、救急入院）、循環器内科1件（心臓ペースメーカー関係手術）の2件があった。

表4 利用者受診状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
精神科	15	15	16	14	15	17	16	15	18	16	17	17	191
内科			1	1				2	2	5	2	1	14
循環器内科				1				1				1	3
整形外科							2						2
皮膚科						2	1			2			5
耳鼻科				1				1				1	3
歯科		3	1		1			2	2		1	2	12
口腔外科					1						1		2
婦人科						1							1
計	15	18	18	17	17	20	19	21	22	23	21	22	233

※精神科は嘱託医の定期受診件数を含む。

6. 栄養管理

平成30年度も施設内調理により、行事食を含め、季節感のある食事の提供に努めたが、12月に新たに栄養士を配置したことにより、さらに豊かなメニューの提供と基準に基づいた細やかな栄養管理を可能とした。

7. 安全管理

5月及び12月に防災訓練を実施した。また、12月に防災委員会を立ち上げ、日常からの防災意識の涵養と防災マニュアルの整備を目指すこととなった。

8. ボランティアの受け入れ

近隣理髪店のご厚意により、12月より訪問理容を実施した。希望する利用者を対象とする整髪で計4回、延べ25人が利用した。

9. 苦情対応状況及びヒヤリハット・事故の発生状況

(1) 苦情対応

平成30年度において、苦情対応規程に基づき対応した苦情は1件であった。

時 期	平成30年7月
申立人	利用者家族
苦情内容 と要望	利用者が帰省後、入浴時に背中に打ち跡、胸、手にひっかき傷があることが判明。今後は帰省前に身体を確認し、傷があれば化膿しやすいので消毒してほしい。
対 応	ご家族には要望に沿った確認と必要に応じての処置を行う旨回答し、了承を得る。 以後、園において確実な確認業務を行った。

(2) ヒヤリハット・事故の発生状況

不穏状態となった利用者が他利用者、職員に対して、嘔みつき等の加害行為を起こす事故が多数を占めた。受診、治療を要する傷を生じた事故は、職員に対する2件で、その他は、冷やすなどの処置で受診に至るものはなかった。

その他、入浴中の転倒事故が1件生じ、事故の起こりにくい環境づくりの必要性を認識することとなった。

また、投薬に関わる事案は3件で、床に薬が落ちていた等、確実に飲んだことを確認できていないなどが原因となるものであった。

異食事故は2件あり、いずれも同一利用者によるもので、幸いに大事には至らなかったが、リスクを踏まえ、物品等の管理を徹底することが求められた。

なお、職員数の乏しい時間帯で、3人の利用者を居室に隔離（施錠）する事案があった。このことは身体拘束のひとつで人権侵害にあたるとの認識に立ち、職員間で学習の機会を設け、理解・認識の共有を図った。

利用者の不穏による他利用者・職員への加害	
5～3月	嘔みつき7件
9, 2月	頭突き等2件
10月	男性利用者による女性利用者への接触（キス行為）
転倒事故	
2月	入浴時、浴槽に入る際、滑って転倒。職員の手が当たり引っ掻き傷。
投薬に関わる事故	
7, 11, 2月	食後、床に薬が落ちていた等、確認不足3件
異食に関わる事故	
3月	マジックインク、軟膏薬の2件
無断外出	
5, 8月	施錠されていない扉から園外に出てしまう等2件
利用者の隔離	
1月	朝の職員数が乏しい時間帯に複数のインフルエンザ感染利用者への食事対応を個別に実施せねばならない状況で、行動面で見守りが必要な3人の利用者を居室に一時隔離（施錠）した。
利用者による器物破損	
6～3月	居室扉、窓ガラス、自動車リアワイパー等7件

Ⅲ. 短期入所事業の状況

空床利用型で短期入所事業を実施した。

レスパイトを目的とするもの、施設入所を検討するための事前体験など目的、理由は様々であるが、者・児併せて159件、延べ740日の利用があった。

表5 短期入所事業 月別利用件数

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
奈良市	区分4			2				3	3	3	3	2	2	2	20
	(延日数)			5				7	7	7	7	6	6	6	51
	区分5	7	5	5	4	6	1	2	4	4	4	2	3	3	46
	(延日数)	22	13	12	12	24	3	7	28	20	20	6	11	8	166
	区分6	4	1	3	3	2									13
	(延日数)	10	2	7	8	6									33
奈良県下 (除奈良市)	区分4										1	2			3
	(延日数)										2	11	7		20
	区分5	1		3	1	4	1					1			11
	(延日数)	3		6	2	9	2					5			27
	区分6											2			2
	(延日数)											10			10
	その他				1	1									2
(延日数)				2	3									6	11
他府県	区分4		1							2			1		4
	(延日数)		4							10			13		27
	区分5	1	1												2
	(延日数)	3	5												8
	区分6													1	1
	(延日数)													18	18
	その他							1							1
(延日数)							2							8	10
児童	区分2			1							4				5
	(延日数)			2							8				10
	区分3	8	5	4	2	3	3	2	1	14	2			1	45
	(延日数)	31	36	36	32	34	33	32	29	58	24			2	347
	その他										1				1
	(延日数)										2				2
合計		21	15	16	11	16	9	7	10	27	11	6	10		159
(延日数)		69	65	63	56	76	47	46	74	97	62	37	48		740

IV. 職員体制

1. 職員数（平成31年3月31日現在）

職名	施設長	サービス管理責任者	生活支援員	看護師	栄養士	調理員	事務員	その他	合計
常勤	1	1	13	1			1		16
非常勤	兼比管	1兼支援	6	1	1	4		1	13

2. 会議及び各委員会の運営

会議名	開催頻度	備考
職員会議	月1回	全職種が参加し、開催。
支援会議	月1回	サービス管理責任者、支援員により利用者への支援を検討。
リーダー会議	月1回	主任、各階リーダー職員により開催。
給食会議	月1回	栄養士、調理員、支援員により開催。
引継ぎミーティング	毎朝 毎夕	利用者の状況などについて、夜勤者と日勤者間で引継ぎ、情報共有を図る。

委員会名	開催頻度	備考
虐待防止委員会	随時	虐待についての内部研修を2回実施
リスクマネジメント委員会	随時	事故の発生防止を目的に、今回は利用者の服薬について誤りを防ぐべくその方法を確認した
防災委員会	随時	火災通報装置の使用方法について職員間で確認機会を持った（2回） 今後は防災マニュアルの策定を目指す。
身体拘束防止委員会	随時	身体拘束廃止の指針を策定し、職員間で共通認識できるように内部研修を1回実施

3. 研修

(1)施設内研修

外部より講師を招き実施すると共に、防災、リスクマネジメント等各委員会の役割として担当職員を中心に研修を実施した。

(2)外部研修

資格取得に向けて県が主催する公的研修会を適宜受講するとともに、各種団体が行う研修に参加した。

施設内研修

月	日	研 修 内 容	講 師	参加者
5	28	虐待防止研修	奈良市社協 濱田真人氏	7
7	24	自閉症の3つの特徴と虐待の関係		
10	14	成年後見制度について	司法書士 山田大輔氏	家族 10 職員 12
11	14	口腔保健・栄養ケアについて	OPC 奈良 正田晨夫氏	利用者 10 職員 6
12	21	火災通報装置・専用電話機の使い方	担当職員	7
1	30	火災通報装置・専用電話機の使い方	担当職員	5
2	16	身体拘束廃止の指針について	担当職員	10
2	28	インフルエンザ発症時の対応について 誤投薬防止対策について	担当職員	7

外部研修

月	日	研 修 内 容	講 師	参加者
4	26, 27	ひのきしんスクール 精神疾患と障害	天理よろず病院 田口静氏他	辰巳
7	13	奈良市特定給食施設等研修会	奈良市職員 他	岩本美幸
8	28	大阪府下障害者施設 アウトリーチ型研修 人材育成について考える、スーパービジョン体験 を通じて	関西福祉科学大学 小口将典氏	下田
10	24			
11	6			
8	29, 30	奈良県相談支援従事者初任者研修		井口,新木
9	6, 21, 28			井口
10	15	TKC 社福法人経営研究会特別研修会 ごちゃまぜ共生社会で創る日本の未来 他	社福法人佛子園理 事長 雄谷良成氏 他	施設長 辰巳
10	20~24	社会福祉施設長資格認定講習課程	東洋大学教授 高山直樹氏他	施設長
11	7	おめめどうの筆談コミュセミナー	株式会社おめめどう 奥平綾子氏	辰巳
11	13, 16	奈良県サービス管理責任者等専門研修	ふせ支援ネットワーク 前川 敦氏他	岩本照代
11	29	OPC 奈良 摂食・嚥下講習会	奈良県言語聴覚士会 松下真一郎氏	岩本照代
12	20, 21 25, 26	奈良県強度行動障害支援者養成研修 基礎及び実践研修	奈良県職員 施設職員 等	池田
1	22	奈良県サービス管理責任者等研修		新木
2	26, 27			

V. 人事異動

採用

支援員	A (女)	平成30年 4月 5日
支援員	B (男)	平成30年 4月 6日
支援員	C (男)	平成30年 6月16日
支援員	D (女)	平成30年10月 4日
支援員	E (男)	平成30年11月16日
パート調理員	F (女)	平成30年 4月 4日
パート支援員	G (女)	平成30年 4月25日
パート支援員	H (男)	平成30年 5月21日
パート支援員	I (女)	平成30年11月16日
パート支援員	J (女)	平成30年11月19日
パート栄養士	K (女)	平成30年12月17日
パート支援員	L (男)	平成31年 1月 7日

退職

支援員	B (男)	平成31年 3月31日
パート支援員	M (女)	平成30年 4月14日
パート支援員	N (女)	平成30年 4月15日
パート調理員	O (女)	平成30年 5月31日
パート支援員	G (女)	平成30年 7月11日